



## 杉村楚人冠記念館企画展 関東大震災100年展示

### 「1923—関東大震災を生きた人々—」

今年は関東大震災から100年目となる、節目の年です。多くの方が様々なものを失いましたが、東京朝日新聞社のジャーナリスト・杉村楚人冠もその一人でした。今回の展示では、当時の日本の様子や楚人冠と家族の様子を示す資料から、関東大震災を生きた人々について紹介します。また、前回の企画展示と同様に、分かりやすい漫画での解説もあります。

#### ○楚人冠と関東大震災の関係を示す資料

R. B. Davies 書簡「震災で息子2人を亡くした楚人冠へお悔やみ」大正12年11月27日

楚人冠は震災で、入院中だった息子2人を亡くしました。同じ病院に入院していた彼らは、発見された時、お互いに寄り添い、抱き合いながら亡くなっていたそうです。若い2人の死を多くの方が悲しみ、日本のみならず、R. B. Davies 氏をはじめ海外の知り合いからも、多くのお悔やみの手紙を受け取りました。国際的に活躍した楚人冠ならではの資料です。

杉村広太郎『アサヒグラフ特別号 大震災全記 最も整った記録と画報』(東京朝日新聞社グラフ局) 大正12年10月28日

楚人冠は日刊『アサヒグラフ』を刊行するグラフ局長として、日々仕事に励んでいました。震災で刊行に必要な資料が失われ、日刊としての刊行が困難となり、週刊になると、楚人冠はグラフ局長を辞しました。そんな楚人冠が最後に魂を込めた仕事が、この『大震災全記』の発行でした。震災時の貴重な写真資料として、非常に高い価値がある資料です。

日時：7月11日（火）～10月1日（日）午前9時～午後4時30分（入館4時まで）

休館日：月曜日（祝日の場合翌平日）

場所：杉村楚人冠記念館

入館料：300円（高校・大学生200円、中学生以下無料）

#### 【問い合わせ】

我孫子市教育委員会  
生涯学習部文化・スポーツ課  
杉村楚人冠記念館  
担当 武藤

☎04-7187-1131

上：絵葉書 [東京地震火災 避難者の群れ]

中央：杉村広太郎『アサヒグラフ特別号 大震災全記 最も整った記録と画報』表紙

下：絵葉書 [東京地震火災 日比谷交差点の群衆]



# 夏期企画展 関東大震災 100 周年展示

# 1923

## — 関東大震災を生きた人々 —



### 7月11日 (火)

### 10月1日 (日)



開館時間：午前 9 時～午後 4 時 30 分 (入館午後 4 時まで)

休館日 月曜日

入館料：一般 300 円 / 高校・大学生 200 円 / 中学生以下無料

団体 20 名以上 2 割引 / 障がい者免除あり

3 館共通券 (白樺文学館・鳥の博物館共通、有効期限 1 か月)

一般 500 円 / 高校・大学生 400 円

2 館共通年間パスポート (白樺文学館共通、1 年間入館可、特典あり)

一般 2,000 円

交通手段：JR 常磐線・成田線我孫子駅下車 南口より徒歩 9 分

阪東バス 緑一丁目・寿一丁目・アビスタ前下車 徒歩 5 分

※駐車場はありません、公共交通機関をご利用ください。



### 我孫子市杉村楚人冠記念館

〒270-1153 千葉県我孫子市緑 2-5-5 電話 04-7187-1131

The Haven Abiko, Chiba-ken … 安息の地、千葉県我孫子

